

令和3年度 堺市立図書館サービス評価(案) 各館取組み評価表
 IV 令和3年度 各図書館の取組み状況

	意見・質問	事務局からの回答
堺区	電子図書館資料として行政資料の収集公開がされることは意義あることだと思うが、歴史的文化的な地域資料の保存公開についての記述が乏しく、行政資料のみ重視しているかのような印象がある。	令和3年度の取組み総括の項目に地域資料のデジタル化について追記しました。
	今年度の目標で、「「ティーンズコーナー」を一般閲覧室に新設します」とあるが、新設することはとてもいいことであるが、単に新設を記述するのではなく、青少年が利用するには、どのような企画でヤングアダルト世代と読書をつなげていくのか、もう少し踏み込んだ(仕組みや工夫)サービスの記述が必要ではないか。	令和3年度はティーンズコーナーの新設とその広報を主に行いました。利用促進について課題と捉えて、その手法につき今後検討してまいります。
	レファレンス受付件数、コロナ前は24,000件前後と記憶しているが、令和4年3月現時点で約4,000件下がっている理由は何かあるのか。	職員による計数誤りが主な理由です。
	電子書籍・デジタルアーカイブの利用について「計画的に広報する」とあるが、具体的にはどのような手段で広報されるのか。	月1回以上のTwitterでの電子書籍紹介・図書館ホームページの更新を考えています。
東区	シンプルに本を読んだり、ふれたりする場所が図書館と仮定した場合、自習というのは本とふれあうに該当しないのでしょうか。そもそも席を長期確保している人は自習している人だけではないと個人的にはおもっています。席は増やしたり、新たな場所を増設したりはできないのでしょうか。	自習は、図書館資料を利用しない問題集や参考書等持込資料のみの勉強を指しています。現在感染予防のため減席しており図書館資料を利用される方が席を利用できないことを防ぐため、東図書館においては図書館資料を利用しない閲覧席の利用をご遠慮いただいております。 なお、館内整理日等を利用して、座席間の距離を確保できるよう館内レイアウトの変更を行い席数は徐々に増やしております。
	面展が借りられた後は、すぐに次の面展を展示しているのか。	日々の配架・書架整理等で面展スペースがあいているときには、新しく展示資料を出すようにしています。
南区	混雑ランプについて、Twitterなどにも掲示はしているのか。	開始時(令和3年12月1日)にTwitterでのお知らせ、図書館HPでの公開、施設ページからのリンク掲載を実施、南区広報12月号への掲載も行いました。館内では申込端末、各机等にQRコード付のお知らせを掲示しています。
	H@Lさんのワークショップは令和4年1月29日?	ご指摘の通り、令和4年1月29日の実施です。

北区	間違ってたら申し訳ないですが、他区の図書館の中には来館者数の増加やイベント実施などで注目を集めようと努力している姿がみえますが、北区の場合、具体的な来館者増または満足度アップの取り組みを教えていただけませんか。	北図書館は、会場を分散するなど感染防止対策をしたうえで、3月20日に北図書館フェスタおよび堺歴史文化市民講座を開催しました。令和3年度から電子申請システムを活用した「非来館イベント」を行っていて、昨年度は6つの投票企画や参加企画を実施し、結果を図書館ホームページに掲載いたしました。このイベントの目的は、コロナ禍で来館しづらい人への非来館型サービスの提供と、広く市民に向けて図書館や本の魅力を発信することで来館者増につなげるという2点です。今後も、利用者の皆様にご満足いただけるような企画を実施していきたいと考えています。
移動図書館	運用の実際や成果・課題などの報告を要望。	移動図書館の統計数値をp16に掲載しました。